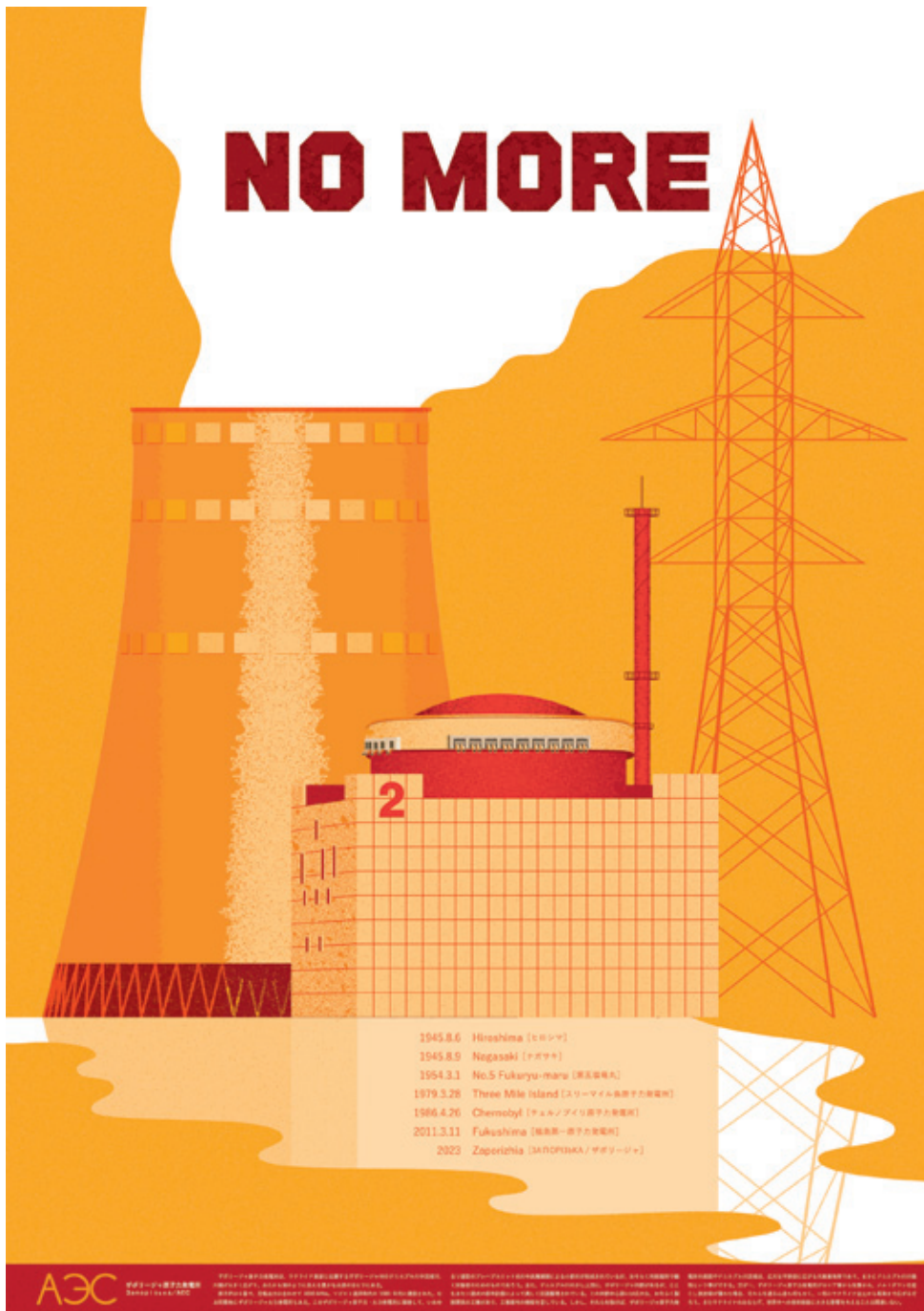


NO MORE



- 1945.8.6 Hiroshima (ヒロシマ)
- 1945.8.9 Nagasaki (ナガサキ)
- 1954.3.1 No.5 Fukuyama (福井県)
- 1979.3.28 Three Mile Island (スリーマイルアイランド)
- 1986.4.26 Chernobyl (チェルノブイリ)
- 2011.3.11 Fukushima (福島)
- 2023 Zaporizhka (ザポリージャ)

AEC

原子力規制委員会
Regulatory Commission
for Energy, Safety and
Atomic Energy

この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。また、この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。

この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。また、この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。

この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。また、この報告書は、原子力規制委員会の調査に基づき作成されたものであり、その内容に責任を負いません。

NO MORE

ポスター (1030mm×728mm)

斉藤 克幸

2023年

ザポリージャ原子力発電所はウクライナ東部ドニエプル川中流域の豊かな水源のほとりにある。原子炉は6基でソビエト連邦時代の1980年代に建設された。このザポリージャ原子力発電所に隣接して、いわゆるソ連型のプレハブユニット式の中高層建築による小都市が形成されているが、おそらく同発電所で働く労働者のためのものであろう。また少し上流にザポリージャ州都があるが、ここもまたソ連式の都市計画によって区画整理されている。しかしそれらを除けば、ザポリージャ原子力発電所の周囲やドニエプル川流域は広大な平野部に広がる大穀倉地帯であり、まさにドニエプル川の賜物という事ができる。万が一ザポリージャ原子力発電所がロシア軍から攻撃されメルトダウンを起こし放射線が漏れた場合、それらを遮る山岳も何もなく、一気にウクライナ全土から黒海まで広がるだろう。

ソビエト連邦時代に出版された絵本（共産主義や計画経済のプロパガンダとしても機能を果たしたであろう）のイメージで、このポスターをデザインした。2023年7～8月に（公社）日本グラフィックデザイン協会広島地区主催「ヒロシマ平和ポスター展」に出品。